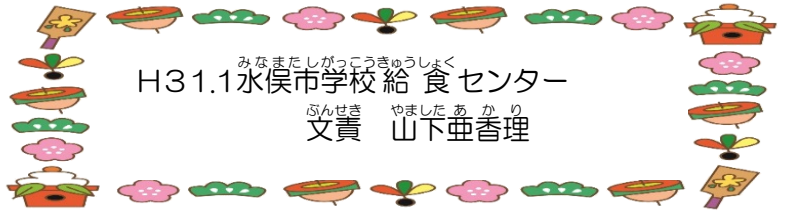


1月給食たより



H31.1水俣市学校給食センター
文責 山下亜香理



あけましておめでとございます
本年もよろしくお願ひ致します



いよいよ今年度も残すところ3か月を切りました。引き続き、おいしく安心・安全な給食を作っていきますので、ご協力よろしくお願ひします。さて、1年間の総まとめとなる3学期はインフルエンザやノロウイルスが流行する季節のため、健康管理にはより一層の注意が必要です。寝不足が続いたり食事を抜いたりすると、体調をくずしやすくなりますので、早寝・早起きをし、朝ごはんをしっかり食べて登校するようにしましょう。手洗い・うがいも忘れずに！

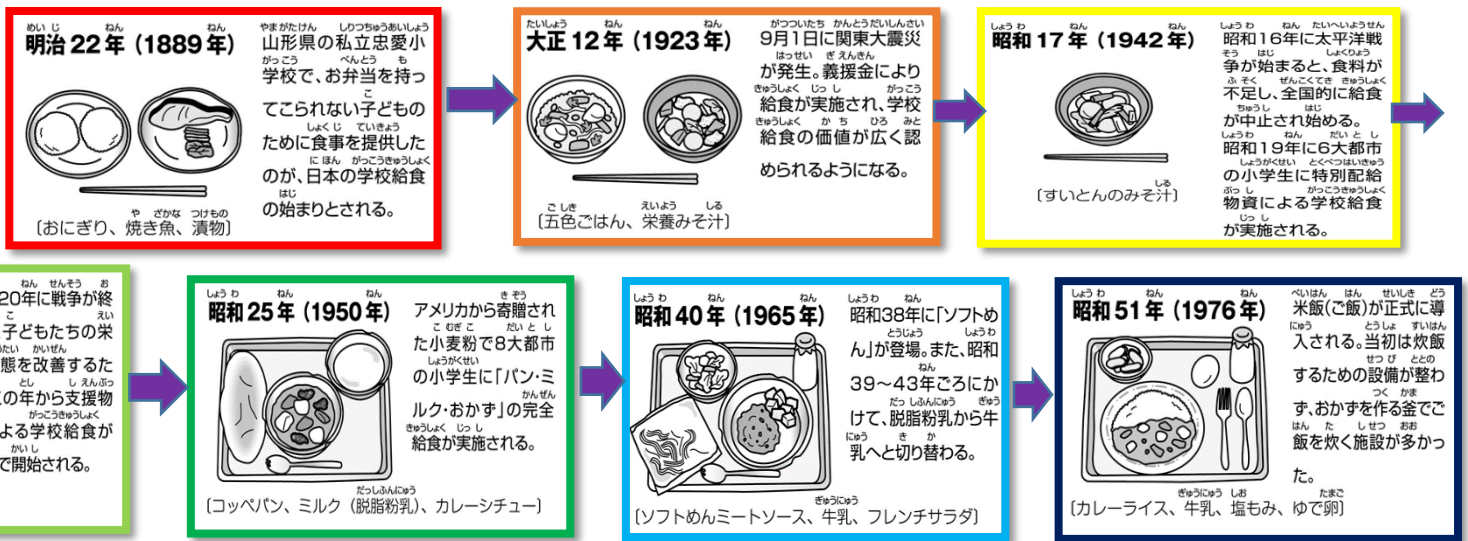
全国学校給食週間

1月24日から30日の1週間は、「全国学校給食週間」です。
普段、何気なくたべている学校給食を考える機会にしませんか？

給食のはじまり

明治22年(1889年)、今から130年前に山形県鶴岡町の忠愛小学校で、貧困児童を対象に無料で学校給食を提供したのが日本の学校給食の起源とされています。このころの献立は、「おにぎり、焼き魚、つけもの」でした。その後、学校給食は、戦争のために中断されていました。しかし、戦後の食糧難により子どもたちの栄養状態が悪化したことから、学校給食の必要性が叫ばれるようになり、再び給食を始めることになりました。また、アメリカや外国からの食料援助もあり、完全給食が全国で始まっていきます。全国学校給食週間は東京・神奈川・千葉で戦後初の学校給食が開始した昭和21年12月24日、この日は冬休みになることがあるため、1ヶ月後の1月24日を「学校給食記念日」としました。

給食の変化



そして、現在は...

子どもたちの食生活の乱れ、偏った食事による肥満や生活習慣病の増加が心配されることから、学校給食は食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために、様々なことを学ぶ「生きた教材」としての役割を担っています。

給食週間の献立

給食週間の取り組みして忠愛小学校で出されていた給食の再現や懐かしの給食、戦後給食が再開された地である東京・神奈川・千葉の特産物やご当地メニューを取り込んだ献立を実施します！

- 24日 日本で給食がはじまった当時の給食を再現しました！栄養もしっかり取れるよう豚汁もつけくわえました！
- 25日 昭和40年代の給食を再現しました！クジラ肉がでますよ！
- 28日 東京がテーマの給食です！原産地である小松菜や両国にある相撲部屋で食べられるちゃんこを取り入れます！
- 29日 千葉がテーマの給食です。千葉で生産量の多いピーナッツ・人参・さつまいもを使った献立が登場します！
- 30日 神奈川がテーマの給食です。鎌倉建長寺発祥のけんちん汁や横浜中華街のまかない料理サンマー麺をどんぶりメニューにアレンジした献立が登場します！

おたのしみに！！